



みなみっ子

42号

学校教育目標

自立

協働

創造

令和8年7月17日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

1 家族の一員として挑戦すること※お家の大人に確認して取り組んでね！

普段は忙しくて親に頼りきりになりがちな家事。夏休みは一步踏み込んで「家族をあとと言わせる挑戦」をするチャンスです。「1日シェフ」に挑戦する：ただのお手伝いではなく、メニュー決め、買い出し、調理、配膳までを1人で（または大人の見守りのもと）プロデュースします。

うちの「名もなき家事」を引き受ける：靴洗、お風呂の徹底掃除、たまった洗濯物をたたむなど、「いつも誰かがやってくれていること」を自分で引き受けて感謝される体験をします。

我が家の取扱説明書作り：家電の使い方、ゴミの分別ルール、災害時の避難場所や備蓄リストなど、家族全員が役立つ「おうちマニュアル」を自作してみるのも立派な活動です。

2 読書に没頭する（長編・シリーズ本）

まとまった時間がある夏休みこそ、普段は敬遠しがちな「分厚い本」や「長いお話」に没頭する絶好の機会です。

「長編・シリーズ本」の読破に挑む：ミヒヤエル・エンデの「モモ」「はてしない物語」、ハリー・ポッターシリーズ、ルドルフとイッパイアッテナ、マジック・ツリーハウス、あるいは十五少年漂流記やエルマーのぼうけんなど、世界観に深く入り込める作品を1冊目からじっくり読み進めます。

「マイ図書館」をおうちで作る：読んだ本をカードに記録して「図書カード」を作ったり、家族におもしろかった本を紹介する「POP（ポップ）」を書いて本に添えたりしてみましょう。

3 探求的な学習・観察・実験（おうちラボ）※お家の大人に確認して取り組んでね！

遠出をしなくても、キッチンやベランダ、庭先は立派な「研究所」になります。

台所の科学（キッチンサイエンス）：「むらさきキャベツ液」を使った水溶液の実験。レモン汁や重曹を入れて色が変化する様子を観察します。

手作りシャーベット：氷に塩を混ぜると温度が急激に下がる仕組み（凝固点降下）を使って、ジュースを凍らせてみます。

身近なものの定点観測：朝・昼・晩の空の色の変化、雲の形、室温と湿度の関係などを1週間記録してグラフにしてみます。

4 地域の歴史や地名の由来を学ぶ

自分が住んでいる場所の「当たり前」を少し深く掘り下げてみると、意外な発見があります。

「地名の由来」大捜査：なぜ自分の住む町や学校がある場所は、その名前がついているのでしょうか？

「川」「山」「稻」など、地名に含まれる漢字から、昔そこがどんな場所だったのか（湿地だった、新しく切り開かれた土地だった、など）を推測し、図書館の郷土資料やインターネットで裏付けを調べます。

「おうちで作る」地域歴史マップ：近所を少し散歩して、古い石碑や石獅子、昔からある建物などを探し、地図に書き込んでいきます。「昔のこの辺りの様子」をおじいちゃん・おばあちゃん、近所の人にインタビューしてみるのもおすすめです。

※夏休みを充実させるコツ大切なのは「自分で決めて、最後までやってみること」です。「今日は地名の由来を1つ調べてみよう」「明日はお昼ご飯を自分で作ってみよう」と、小さな計画を立ててノートに記録していくだけで、一生モノの自信につながる特別な夏休みになりますよ。

夏休みを一生モノの自信に！お家と近所で楽しむ「4つの挑戦」ガイド

夏休みは、普段の生活から一歩踏み出し、自分自身で決めて最後までやり抜く経験を積む絶好の機会です。「家事」「読書」「科学」「地域」の4つの視点から、子供が主体的に取り組める具体的なアクションをまとめています。

家族の一員として成長する「生活と読書の挑戦」

1日シェフになって「家事」をプロデュース

献立作成から買い出し、調理、配膳までを自分一人でやり遂げます。

「名もなき家事」を引き受けて感謝を知る

靴洗いや風呂掃除など、普段誰かがやってくれている仕事を自ら担当します。

長編シリーズ本の読破と「マイ図書館」作り

読んだ本をカードに記録したり、家族向けの紹介POPを自作したりします。

身近な場所を研究所にする「探求と発見の冒険」

台所の科学（キッチンサイエンス）

紫キャベツの実験や、氷と塩を使ったシャーベット作りで科学を体感します。

地域の歴史と「地名の由来」大捜査

地名の漢字から昔の様子を推測し、郷土資料や聞き取りで裏付けを調べます。

お家マニュアルと地域マップの自作

家電の使い方や避難場所、近所の古い建物を地図にまとめて可視化します。